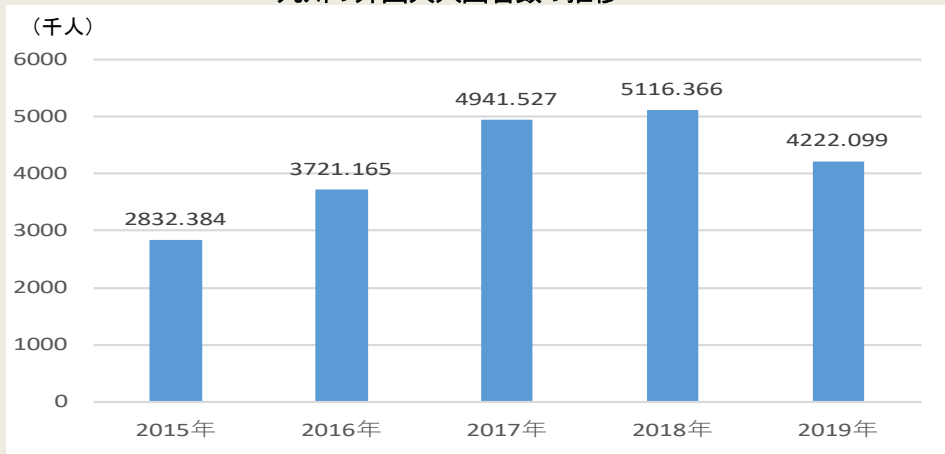


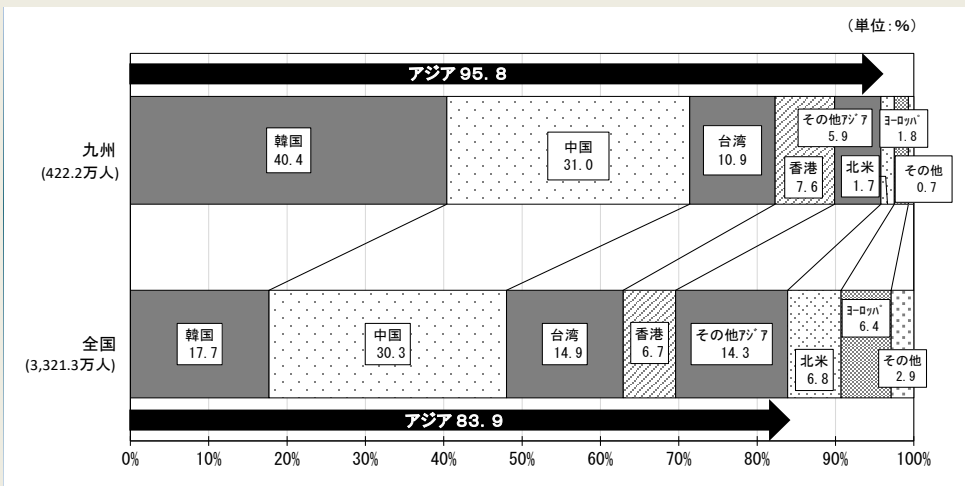
外国人入国者数

- 九州の外国人入国者数は、2018年には5百万人を超えました。2019年は422万人に減少しましたが、2015年の約1.5倍に増加しています。
- 国籍別には、韓国（170.6万人、構成比40.4%）、中国（132.9万人、同31.5%）台湾（45.9万人、同10.9%）の順に多くなっています。
- 全国の外国クルーズ船の寄航回数では、博多港（2位）、長崎港（4位）、鹿児島港（8位）、佐世保(10位)が全国の10位までに入っています。

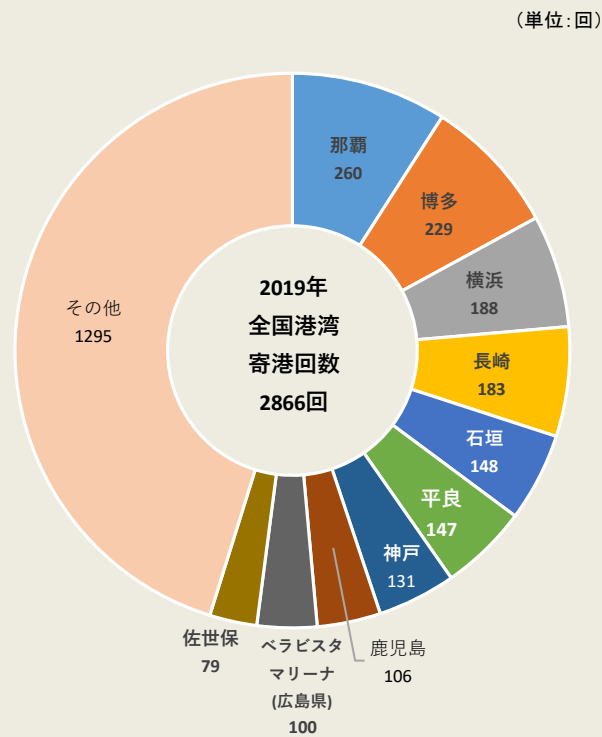
九州の外国人入国者数の推移



九州と全国外国人入国者の構成比



港湾別のクルーズ船の寄港回数(2019年)



出所:法務省「出入国管理統計」、国土交通省「我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数について」

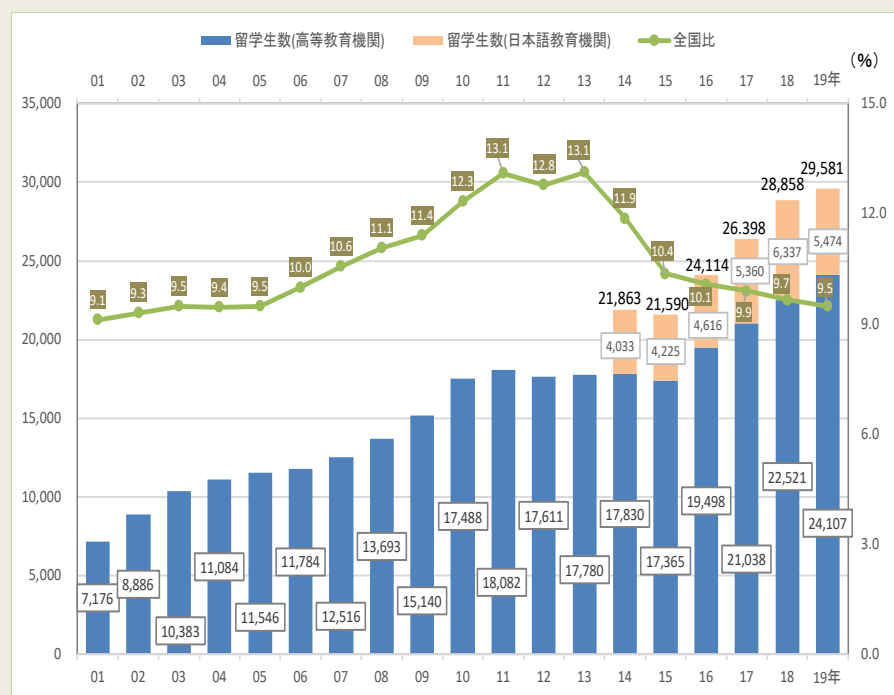
留学生の状況

○2019年の九州の留学生数（高等教育機関及び日本語教育機関における総数）は29,581人（対前年2.5%増、全国比9.5%）。

○アジアからの留学生が95.0%（全国では93.6%）。

○国籍別ではベトナム8,251人（構成比27.9%）、次いで中国、ネパール、韓国の順に多い。

九州の留学生数の推移



九州と全国の留学生数の構成比

